

## 茅ヶ崎 80 のギモン（仮）進捗報告

加藤厚子

### 1. 進捗状況

2026年5月 国会図書館にて、加山雄三・小津安二郎・森田芳光など映画関連の人物を中心に、国会図書館内限定閲覧の資料（主に雑誌資料）を閲覧。

2026年6月 「ケ問題」「九代目市川團十郎」について、Web掲載用フォーマット（短い回答・詳細回答・関連質問・参考文献）にて文案を作成、検討

### 2. 概要

#### ① 「ちがさき」、漢字で書くとき小さい「ケ」と大きい「ケ」のどちらが正しい？（「ケ問題」）

小さい「ケ」と大きい「ケ」は全く別の文字ですが、どちらも地名を書き表すときに使われますが、どちらで統一しているかは、組織によって異なります。茅ヶ崎の場合、市役所では小さい「ケ」で統一していますが、神奈川県では原則として大きい「ケ」で統一しているため、市内にある県に関連する施設や組織では、大きい「ケ」が使われています。

- ・『小田原衆所領役帳』（1559〔永禄2〕年）の元禄時代の写本では小さい「ケ」が使用されている
- ・明治から昭和戦前期の公文書では小さい「ケ」・大きい「ケ」のどちらも使われ、小さい「ケ」の方が多い
- ・1986（昭和61）年、市民からの問い合わせにより、茅ヶ崎市役所では文書の表記を小さい「ケ」に統一  
内務次官発神奈川県高座郡茅ヶ崎町議会議長宛「内務省発地第一九一号 町を市とする件」（1947年9月16日付）が典拠とされている

→ 引き続き、神奈川県における大きい「ケ」使用の論拠、JR（国鉄）における統一状況などを調査

#### ② 團十郎は、茅ヶ崎にかつて住んでいたのですか？

明治時代の歌舞伎役者・九代目市川團十郎（1838～1903）は、1897（明治30）年、茅ヶ崎に孤松庵（こしょうあん）という別荘を建てました。「芝居がなければ茅ヶ崎で暮らす」といわれたほど、團十郎は孤松庵を気に入っており、1903年に亡くなったのも孤松庵滞在中のことでした。孤松庵があった、現在の平和町公園付近は、今でも「團十郎山」という愛称で親しまれ、平和町交番近くには「團十郎山の碑」があります。

→ 川上音二郎に関する記述を追加、直接引用の方法、表記の統一などについて検討

### 3. 今後の作業

- ・担当分の他の疑問について調査・作成を進める
- ・茅ヶ崎市への転入者・市外在住者・歴史に対する興味が薄い人にも理解しやすく、Web上でも読みやすいような叙述・情報提示の仕方について検討し、反映